

平成 30 年度共同研究プロジェクト研究集会「大学・教育委員会・学校が連携する教育改革に位置づく防災教育の現状と方向性」を開催しました(2018/7/13-14)

テーマ：学校防災、防災教育、教育委員会、教育改革
場所：東北大学災害科学国際研究所 3 階小会議室 1 (仙台市青葉区)

7 月 13 日(金)～14 日(土)の 2 日間にわたり、災害科学国際研究所にて、研究集会「大学・教育委員会・学校が連携する教育改革に位置づく防災教育の現状と方向性」を開催しました。共同研究グループのメンバーを中心に 2 日間で延べ 11 名が参加しました。所内からは、佐藤健教授(情報管理・社会連携部門)、柴山明寛准教授(同)が参加しました。大学、教育委員会、教育現場の 3 つの主体を連携させた教育の改革が進められている中、新しい防災教育がどのように構築されつつあるのかについて現状と課題を把握するとともに、望ましい方向性を提言し、成果を主に被災懸念地域に向けて発信することを目的としています。研究集会のプログラムと概要は以下の通り。

7 月 13 日(金) 15:00～

開会あいさつ 東北大学 佐藤 健

趣旨説明 東洋大学 大辻 永

<第 1 部 緊急・講演> 15:10

最近の自然災害を踏まえた大学・教育委員会・学校が連携する教育改革に位置づく防災教育の現状と方向性 滋賀大学 藤岡達也

<第 2 部 実施予定のアンケートについて> 16:00

2 つのアンケート計画 福島大学 山口克彦/東洋大学 大辻 永

<第 3 部 アーカイブの利活用と連携について> 16:30

「みちのく震録伝」の構築 東北大学 柴山明寛

<第 4 部 総合討論 1 > 17:00

総合討論 東洋大学 大辻 永

7 月 14 日(土)

<第 5 部 総合討論 2 > 10:00

東京都の事例紹介 東京都教育委員会 川路美沙

仙台市の事例紹介 仙台市立七郷小学校 齋藤由美子

総合討論/とりまとめ 滋賀大学 藤岡達也

13 日(金)のプログラムでは、災害研のリソースである震災アーカイブ「みちのく震録伝」を利活用した連携研究の方向性を議論しました。14 日(土)のプログラムでは、東京都の教員研修における防災教育の取り扱いや仙台市の教育現場における防災教育の実践状況を共有した後、本研究課題の調査方針について総合討論を行いました。2 日間のミーティングを通して、極めて有益な情報共有とディスカッションを行うことができました。



研究集会 (1 日目)



研究集会 (2 日目)